

施策評価シート (平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成28年 06月 20日

|        |                            |      |                |
|--------|----------------------------|------|----------------|
| 施策 No. | 19                         | 施策名  | 高齢者の自立と社会参加の支援 |
| 主管課名   | いきいき高齢課                    | 電話番号 | 0285-83-8195   |
| 関係課名   | 国保年金課、健康増進課、生涯学習課、自然教育センター |      |                |

|              |          |        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施策の対象        | 65歳以上の市民 |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 対象指標名        | 単位       | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度実績 | 27年度実績 | 31年度見込 |
| 高齢者人口(65歳以上) | 人        | 16,059 | 16,160 | 16,498 | 17,158 | 17,582 | 18,335 | 19,265 | 18,700 |
|              |          |        |        |        |        |        |        |        |        |
|              |          |        |        |        |        |        |        |        |        |

|                            |   |        |        |        |        |        |        |        |             |
|----------------------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|
| 施策の意図                      | 高齢者が生きがいを持ち、自立した生活を送れるよう、高齢者の積極的な社会参加を支援する。<br>在宅福祉の推進と介護サービスの質の向上に努める。   |        |        |        |        |        |        |        |             |
| 成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第11次市勢発展長期計画から成果指標が、ねたきり高齢者数の高齢者人口に占める割合から、他市との比較ができ、自立している高齢者数も推計可能な指標として、介護認定者数の高齢者人口に占める割合に変更した。<br/>(・ねたきり高齢者は、介護4・5認定者とする。)</li> <li>・社会参加している高齢者数は、老人クラブ、老人趣味クラブ、シルバー人材センターの会員数、地域福祉づくり推進事業(ミニデイホーム事業等)の参加者、65歳以上の民生委員とする。</li> </ul> |        |        |        |        |        |        |        |             |
| 成果指標名                      | 単位  | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度実績 | 27年度実績 | 31年度基本計画目標値 |
| ねたきり高齢者数                   | 人   | 775    | 785    | 752    | 753    | 758    | 802    |        |             |
| 高齢者人口に占める割合                | %   | 4.8    | 4.9    | 4.6    | 4.4    | 4.2    | 4.3    |        |             |
| 社会参加している高齢者数               | 人   | 4,540  | 5,797  | 5,952  | 6,255  | 7,016  | 7,241  | 7,821  | 8,000       |
| 高齢者人口に占める割合                | %   | 28.3   | 35.8   | 35.6   | 36.5   | 39.9   | 38.8   | 40.6   | 42.8        |
| 介護認定者数                     | 人   |        |        |        |        |        |        | 2,797  | 2,805       |
| 高齢者人口に占める割合                | %   |        |        |        |        |        |        | 14.5   | 15.0        |
|                            |   |        |        |        |        |        |        |        |             |
|                            |   |        |        |        |        |        |        |        |             |
|                            |   |        |        |        |        |        |        |        |             |
|                            |   |        |        |        |        |        |        |        |             |

|                         |   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民<br/>地域活動やボランティア活動に関心を持ち、地域活動に積極的に参加してもらう。高齢者の社会参加を支援し、生活支援の担い手になってもらう。</li> <li>・行政<br/>高齢者が生きがいを持ち、自立した生活を送れるよう、生きがいづくりや社会参加をしてもらうための情報提供や支援を行う。<br/>介護予防事業に取り組み、また、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援体制の構築を図る。介護保険制度の円滑な運営に努める。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

・社会参加している高齢者数は、毎年増加している。

平成25年度：7,016人、26年度：7,241人、27年度：7,821人

・高齢化率は、団塊の世代が65歳以上となり、伸び率は大きくなっている。

（10月1日現在の人口統計）

平成25年：21.7%（前年比+1.0）、26年：22.7%（前年比+1.0）

27年：23.6%（前年比+0.9）

・高齢者のみ世帯は、団塊世代の高齢化、子ども世帯の独立などで増加している。

平成25年度：2,876世帯（内ひとり暮らし1,373世帯）、

26年度：高齢者のみ2,974世帯（同1,432世帯）、27年度：3,474世帯（同1,564世帯）

・健康増進施設真岡井頭温泉の利用助成を行い、健康増進と利用促進を図っている。

利用枚数 平成25年度：46,512枚、26年度：51,691枚、27年度：53,227枚

・自動車を所有していない高齢者のみの世帯に福祉タクシー券を交付し、交通の便を確保して福祉の増進を図っている。

利用枚数 平成25年度：22,889枚、26年度：25,093枚、27年度：24,898枚

・老人憩の家、老人研修センターは、老人クラブ単位で利用している。

老人憩の家 平成25年度：114日・延べ2,120人、26年度：120日・延べ2,439人、

27年度：113日・延べ2,354人

老人研修センター 平成25年度：105日・延べ2,435人、

26年度：105日・延べ2,219人、27年度：100日・延べ2,166人

・老人クラブ数と会員数は減少傾向にあるが、その要因は、組織が高齢化して世代間の隔たりが生じていること、地域のつながりが希薄化したことなどが考えられる。

平成25年度：89クラブ・会員数2,893人、26年度：84クラブ・会員数2,759人、

27年度：81クラブ・会員数2,638人

・シルバー人材センター会員数はやや減少傾向にあるが、その要因は、定年後の再雇用、高齢化による退会などが挙げられる。

平成25年度：登録会員数476人・受注額2億1,542万円、

26年度：登録会員数471人・受注額2億57万円、

27年度：登録会員数460人・受注額2億74万円

(2) 近隣他市との比較

・本市独自の「みんなでつくる地域づくり事業」の中で、地域福祉づくり推進事業を実施し、高齢者の社会参加や健康増進を支援している。

・要介護等認定率

平成27年：14.5%（県15.7%、全国17.9%） 県内14市との比較では、1番低い

2番 日光市、3番 那須塩原市・さくら市

・高齢化率（10月1日現在の人口統計）

平成25年：21.7%（県23.9%）、26年：22.7%（県25.1%）、

27年：23.6%（県26.0%）

14市では、下野市、小山市、宇都宮市に次いで4番目に低い。

・老人クラブ加入率（60歳以上人口に対する会員数の割合）

平成25年度：12.0%（同6位） 26年度：11.2%（同6位）27年度：10.4%（同6位）

・シルバー人材センター加入率（60歳以上人口に対する会員数の割合）

平成25年度：2.0%（同4位）、26年度：1.9%（同5位）27年度：1.8%（同5位）

(3) 住民期待水準との比較

補足事項欄を参照

27年度の  
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

- ・老人クラブ、老人趣味クラブ、シルバー人材センターへの活動支援を行った。
- ・健康増進施設真岡井頭温泉の利用助成を行い、健康増進と利用促進を図った。
- ・自動車を所有していない高齢者のみの世帯に福祉タクシー券を交付し、交通の便を確保して福祉の増進を図った。
- ・老人憩の家、老人研修センターの利用促進を図るとともに、老人研修センターでは、児童生徒と高齢者との交流活動を行った。
- ・自治会単位で、地域福祉づくり推進事業を実施し、高齢者の社会参加や健康増進及び介護予防を支援した。  
（平成27年度：敬老会事業133区、ミニデイホーム事業47区、井頭温泉招待事業57区、介護予防体操事業45区、高齢者等見守りネットワーク事業17区）
- ・介護予防を図るため各種教室を実施した。  
介護予防いきいき体操教室（室内プログラム、水中プログラム、筋力トレーニング）  
いきいき脳元気教室  
お口うるおいアップ教室（口腔機能向上教室）、認知症講演会、介護予防講話など
- ・介護サービスの質の向上を図るため、介護相談員派遣事業や法人・事業所の実地指導等を実施した。
- ・地域住民の共助意識を高め、地域内で高齢者等の見守り等の支援が図れるよう、地域共助活動推進事業の推進に努めた。
- ・高齢者の外出促進と生きがいづくりを図るため、シルバーサロン「コットン・カフェ in大谷台町」の利用を促進をした。
- ・高齢者世帯の安心を確保するため、急病や災害等の緊急時に、ボタン1つで迅速に通報できる緊急通報装置を設置した。

27年度の  
評価結果

### 3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・団塊の世代が65歳を超え、高齢者が急増しているため、高齢者の自主的な社会活動を支援していく。
- ・老人クラブ、老人趣味クラブの活動内容を市広報紙等で紹介するなど、加入促進を図る。
- ・地域福祉づくり推進事業の中で、介護予防体操事業の実施を促し、要介護状態にならないための健康づくりを推進する。  
また、高齢者等見守りネットワーク事業と地域共助活動推進事業の普及を図り、地域での見守り活動を推進する。
- ・生きがい活動支援通所事業（デイサービス事業）や地域包括支援センターの介護予防事業（運動機能向上、口腔機能向上等）を活用し、生活機能の向上や認知症の予防を図る。
- ・また、引きこもり高齢者の社会参加を支援するため、シルバーサロンの利用を促進し、高齢者の居場所づくりを図る。
- ・引き続き緊急通報装置の設置を行い、高齢者世帯の安心を確保していく。
- ・地域包括ケアシステムの構築の実現に向け、山前地区でモデル事業を開始していく。また、在宅医療・介護の連携並びに、認知症施策を推進する。

27年度の  
評価結果

#### 補足事項

##### 【(3)住民期待水準との比較】

・平成28年度真岡市民意向調査では、「真岡市の理想の将来像」として、「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」が33.4%（前年度33.8%）で11項目中2位（同2位）、また、「今後、力を入れてほしい施策」では、「高齢者福祉の推進」が42.7%（前年度46.0%）で29項目中1位（同1位）であり、急速な少子高齢社会の進行により、市民の期待水準は高い傾向にあると思料される。

##### 【高齢化の状況】

・国の状況（平成28年版高齢社会白書：内閣府発表より）

平成27年10月現在、65歳以上の高齢者人口は3,392万人（高齢化率26.7%）で、団塊の世代（昭和22～24年に生まれた人）が75歳以上となる平成37年には3,657万人となり、平成54年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計している。

高齢化率は、団塊の世代が75歳以上となる平成37年に30%を超え（30.3%）、平成72年には39.9%に達すると推計している。

・真岡市の状況（第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より）

平成27年10月現在、高齢者人口は19,004人（高齢化率23.6%）で、県内14市では低いほうから4番目である。

高齢者人口は、平成29年に20,106人（25.0%）、平成32年に21,504人（26.8%）、平成37年に22,439人（28.1%）になると推計している。